

2024年6月21日

吹田市等4自治体および政府機関と連携した フューチャー・デザイン ワークショップを開始 ～広域連携戦略とカーボンニュートラル・防災の統合的施策を議論～ 【第1回 6/24 (月) 14時～ @千里山コミュニティセンター】

❖ 概要

大阪大学大学院工学研究科 原圭史郎研究室は、吹田市との共催により、自治体間連携体制であるNATS*、そして政府機関である経済産業省近畿経済産業局、環境省近畿地方環境事務所と連携し、フューチャー・デザインを導入した施策検討のワークショップを6月24日(月)から全5回で実施します。

これまでも、自治体や政府、産業界において、フューチャー・デザインの実践が進められてきましたが、本取組は複数の自治体と政府機関の職員が一同に会し、フューチャー・デザインの考え方や方法を取り入れ、広域連携を見据えた施策の議論を行う新たな試みとなります。

具体的には、フューチャー・デザインの研究と実践を進めている、大阪大学大学院工学研究科 原研究室の学術知見を生かし、参加機関の職員が、2060年を想定して持続可能な未来社会を構想し、今後取るべき施策や自治体間連携のあり方を広く議論するとともに、効果的な施策立案や連携強化のための方策を検討します。気候変動による大規模災害リスクが高まる中、これまで個別に議論されてきた「カーボンニュートラル」政策と「防災」政策を一体的に捉え、これらの統合的施策のあり方を議論する点も新規性です。特に、「仮想将来世代」の方法を導入し、参加機関の職員が共に「2060年の将来世代」の視点・立場から、自治体間連携の今後のあり方と、カーボンニュートラルと防災を統合的に進めるための施策を検討します。

日本および世界が多様な持続可能性問題や長期課題に直面する中、この取組は、フューチャー・デザインの学術的知見を基に、組織間連携を見据えた持続可能な未来社会のあり方と、そのための政策を構想する先導的事例となり得るものです。



2019年に吹田市職員、住民の参加の下で実施された第3次環境基本計画策定に向けたフューチャー・デザインの様子

*NATS：西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市の大都市周辺で連担する中核市で構成されます。NATSは、各市のアルファベットの頭文字であり、圏域は172万人の人口を擁し、府県の枠を超えて行政連携を深めています。

Press Release

❖ ワークショップ概要

【日 時】 令和6年(2024年)6月～9月(予定) 全5回実施

【場 所】 吹田市の公共施設等

【共 催】 吹田市環境政策室

【参加者】 下記機関の職員

西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市

経済産業省近畿経済産業局、環境省近畿地方環境事務所

【第1回】 令和6年(2024年)6月24日(月) 14時～17時

千里山コミュニティセンター 多目的ホール(吹田市千里山霧が丘 22-1)

※第2回以降の日程・内容については3ページ参照

❖ フューチャー・デザインについて

現代社会は、気候変動、資源エネルギー問題、社会インフラの維持管理、財政問題など、世代を超える多くの持続可能性問題に直面しています。これらの課題は、現在の意思決定や行動がまだ見ぬ将来世代の幸福や利益にも影響する、いわゆる世代をまたぐ長期課題です。一方で、現世代の様々な社会の仕組みや社会システムの下では、将来世代の利益を適切に考慮し、意思決定することが困難です。このような背景から、フューチャー・デザインの研究が始まりました。

フューチャー・デザインとは、将来世代に持続可能な社会を引き継いでいくための社会の仕組みのデザインとその実践のことを指します。そして、有望な仕組みの一つと考えられているのが、今回の実践でも応用する「仮想将来世代」と呼ばれる方法です。仮想将来世代の方法を導入し、将来世代の視点から現在の意思決定を考察・評価することにより、現世代と将来世代の双方の利益や幸福を考慮した意思決定が導かれることが、既往研究や実践から示唆されています。これらの学術知見や方法を応用し、当該実践では、異なる機関の政策担当者が2060年の将来世代の視点から、広域連携(自治体間連携)およびカーボンニュートラルと防災との統合的施策を検討します。

なお、大阪大学大学院工学研究科と吹田市は、2016年に「フューチャー・デザイン」研究や教育、実践を進めるための確認書を交わし、これまで共同研究や実践を進めてきました。また大阪大学では、大学院工学研究科テクノアリーナ最先端研究拠点部門に「フューチャー・デザイン革新拠点」が2021年に設置されており、「将来世代」のコンセプトを取り込んだ新たな社会工学の基盤構築とともに、産学官連携での社会課題解決のための様々な実践が進められています。

(フューチャー・デザイン 関連サイト)

- ・ 原研究室(フューチャー・デザイン領域)ホームページ
<https://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/hara/>
- ・ 工学研究科テクノアリーナ「フューチャー・デザイン革新拠点」ホームページ
<https://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/fd-research/>
- ・ 産学官におけるフューチャー・デザインの実践事例
<https://www.cfi.eng.osaka-u.ac.jp/fd-research/practices.html>

Press Release

❖ フューチャー・デザインの実施概要・日時

回	日程	主な内容
第1回	6月24日(月)	・2060年の社会像の検討 ・カーボンニュートラルと防災の統合的施策の検討
第2回	7月16日(火)	・統合的施策実現のための議論 ・NATS等の広域連携のあり様の議論
第3回	7月30日(火)	・ <u>仮想将来世代の視点から、2060年の社会像の検討</u> ・カーボンニュートラルと防災の統合的施策の検討
第4回	9月3日(火)	・ <u>仮想将来世代の視点から、統合的施策実現のための議論</u> ・NATS等の広域連携のあり様の議論
第5回	9月26日(木)	・ワークショップの振り返り ・NATS等の広域連携における今後のあるべき姿・戦略の議論

※どの回もご取材いただけます。

❖ 取材申込について

※本イベントをご取材いただける際は、以下の Web 登録フォームから申請をお願いします。

(第5回までの全開催分を下記の同じフォームから受け付けます。開催期日の2日前までにお申込をお願いいたします。)

<https://forms.office.com/r/fS8aN9iRAT>

